

加盟団体だより

オヴァ・ママの会

当会は、近年は対外的な活動は控え、設立(1992年)以来の活動をまとめた報告と、スリランカの養護施設の児童が描いた絵画を通した心理分析のまとめとをあわせた仮称『児童画が映すスリランカ』という書籍の編集を手掛けております。事務局では500点に及ぶ児童画を保存しており、それらの紹介も予定していました。しかし、心理分析を監修していた画家が一昨年末に急逝し、そのため編集活動が大幅に遅れているのが現状です。

さて、活動報告を編集していると、会の活動に豊かな示唆をもたらした書物が記憶に浮かんできます。例をあげれば、中村禮子『わたしのスリランカ』(南雲堂 1985年)、夫の(現)龍谷大学名誉教授中村尚司さんとスリランカに渡った主婦としての生活感あふれたエッセイ集。内藤俊雄『イスル・ソヤ』(同文館 1990年)、

貧しさ故に“イスル・ソヤ”(しあわせをさがして)海外出稼ぎに奔る女性とその家族の行きつく先。田中典子『消されたポットウ』(農文協 1993年)、勃発した内戦のさなか、タミル人集落での生々しい体験録。富坂キリスト教センター編『傷ついた真珠』(游学社 1995年)、インド洋の真珠と呼ばれたスリランカの自然破壊、貧困、内戦をもたらした日本の援助を告発。いずれも今も問いかける書物だと思います。近刊本では、中川なをみ『茶畑のジャヤ』(鈴木出版 2015年)、登校拒否の小学生がスリランカで出会った少女との交流を描いた童話。伊藤千尋『凜としたアジア』(新日本出版社 2019年)、アジアの小国の在り方が指し示す日本の将来像。これらもお勧めです。

(事務局長 赤羽一郎)

オヴァ・ママの会

〒470-0155 愛知県愛知郡東郷町白鳥4-4-5-201-101 赤羽方
TEL& FAX: 0561-39-2608 E-mail: huna64@qq8.so-net.ne.jp